

# 泉中校区 小中一貫教育だより

平成30年3月 泉中学校・泉小学校・中村町小学校 発行

## 今年度小中一貫教育の取組 成果と課題

### めざす子ども像

1. 「学びの基本」の定着のもと、学び合い、学びを深める子
2. 読書や交流・体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を身につけた子

### 教育課程づくり

#### 泉中スタンダードのレベルアップ

##### 泉中校区小中一貫教育全体会

###### 【成果】

4月に小中一貫教育のねらいや今年度の計画を確認するために泉中校区の3校教職員全員が集まって開催しました。各校の課題や今年度の取組についての見通しを持ち、共通理解するとともに、泉中校区3校がともに連絡を取り合い、足並みを揃えて取組を進めていくことを確認することができました。

###### 【課題】

小中のつながりを意識した教育課程の作成を行いましたが、まだ十分に活用されているとは言えない状況です。

また、スクール・フォーラムや小中一貫教育だより、ホームページなどを通して保護者の皆様への情報発信を行ってきました。取組へのご理解をいただいておりますが、さらに金沢型小中一貫教育へのご理解をいただける工夫が必要です。

###### 【来年度に向けて】

泉中校区の豊富な教育資源を生かした小中9年間の「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に、よりよい教育課程づくりに努めていきます。9年間の学びとして充実したものになるよう小中のつながりをより一層意識した授業づくりに努めるとともに、常に見直しを図り、保護者の皆さまへも発信しながら、泉中スタンダードの質的レベルアップを目指していきます。

### 授業づくり

#### 「学び合い」の質の向上を目指して

##### 相互授業参観・「学び合い」

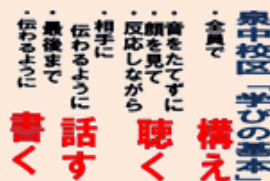
###### 【成果】

小学校と中学校が相互に授業を参観しました。校区全体で学び合いの場をもつために、時間の確保や手立ての工夫をしました。

そうした結果、3校の児童・生徒とも「学び合い」に関する意識の高まりが見られるようになりました。学び合いのよさの実感、学習への意欲が向上するなどの成果が見られました。

###### 【課題】

「学び合い」の必要感や目的意識をより高めるため、さらに効果的になるように工夫を重ねていくことが求められます。「学びの基本」についても、さらなる定着に向け、振り返りの方法（場面・回数）などの手立てがマンネリ化しないような工夫が必要です。



###### 【来年度に向けて】

9年間の「学び合い」をどう育んでいくかについて、来年度は今年度以上に充実した相互授業参観を行います。授業における児童・生徒の姿をもとに「学び合い」のよさを実感する、学習への意欲を高める指導方法のあり方を全教職員で学び、実践に生かすよう努めていきます。

## 人間関係づくり

### 憧れ・親近感を生む交流・体験活動の創造

#### 金沢「絆」活動・iPS サミット

##### 【成果】

3校の児童・生徒が協力して、挨拶運動、清掃活動、ペットボトルキャップ集めを行い、「絆」を深める取組を進めました。

iPS (izumi Pupil Student) サミットでの話し合いをもとに行った挨拶運動やペットボトルキャップの回収では、大きな成果を上げることができました。

また、金沢「絆」の日では、各小学校で挨拶運動やペットボトルキャップを集めました。その後、児童・生徒が互いに助け合いながら、小学校の清掃活動を行いました。中学生の取組の姿勢や心配りを見て、感謝の気持ちとあこがれの思いをもつことができました。中学校では地元企業からのお声かけにより、弥生地区方面の生徒中心に企業の皆さんと合同で公園の清掃活動を行うことができました。



##### 【課題】

今年度は、iPS サミットを中心に交流の場づくりを行ってきました。今後はさらに児童会・生徒会活動の充実に向けて、新しい交流の場を模索していく必要があります。

また、金沢「絆」の日の取組はここ4年間、出身校の清掃活動を中心にしてきましたが、保護者の皆様や地域の皆様と十分な交流ができなかった現状があります。地域の一員として、より地域に根づいた取組を模索していく必要があります。

##### 【来年度に向けて】

よりつながりが生まれるよう取組を見つめ直し、改善を図ります。図工・美術作品の交流などをさらに充実させていきます。

また、地域の皆様とのつながりも育てていくため、金沢「絆」の日の取組やお知らせを工夫し、児童・生徒が地域の一員としての思いを育ていけるよう努めていきます。

## 組織づくり

### 実効性・継続性のある研修会・部会の実施

#### 3校の職員によるグループ討議

##### ・小中一貫教育だより

##### 【成果】

小中一貫教育を進めていくにあたって、7部会（教育課程部、研究部、生徒指導部、特別活動部、総合的学習の時間部、図書館部、養護教諭部）を立ち上げ、年間5回の話し合いの場を設け、取組を進めることができました。

今年度は、保護者の皆様に向けて「小中一貫教育だより」を年間6回発行することができました。

##### 【課題】

小中一貫教育を進めるにあたり、今後も小中のつながりだけにとどまらず、小小（泉小・中村町小）のつながりをさらに作っていく必要があります。これまでの実践の中から見出された課題に対応する組織づくりを進めていかなければなりません。

##### 【来年度に向けて】

今年度から泉小・中が校舎の共有を始めました。これを機に、小小（泉小・中村町小）のつながりをさらに深め、小中3校が今まで以上に関わり、一体感が高まるような取組を工夫していきます。

